



※仁王門から約200m下がる「銅の鳥居」があります

〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山2498
 ホームページ <http://www.kinpusen.or.jp> Tel.0746-32-8371 Fax.0746-32-4563

自然を愛し、文化財を大切にしましょう。



神仏霊場会 奈良二十六番札所
役行者霊蹟札所会札所



KINPUSENJI
金峯山寺
吉野・大峯



金

峯

山

修

験

本

宗

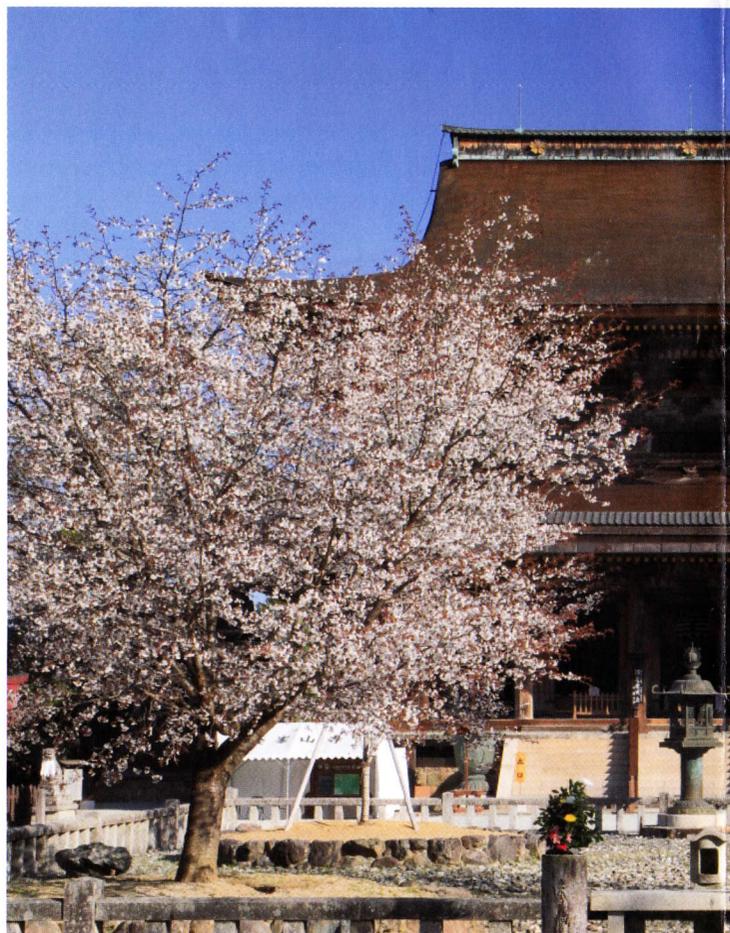
金 峯 山 と 金 峯 山 寺

金峯山（きんぶせん）とは、奈良県の吉野山から山上ヶ岳（大峯山）に至る一帯を指し、古く飛鳥時代から聖地として知られていました。白鳳年間（7世紀後半）、修験道を始めた役行者（えんのぎょうじゃ）は、この金峯山で修行され、山上ヶ岳において、人々を迷いや苦しみから救い、悟りの世界に導くために金剛蔵王権現を折り出されます。そして、そのお姿を山桜の木に彫刻し、山上ヶ岳と吉野山にお堂を建ててお祀りされました。これが山上山下の蔵王堂の起こりであり、金峯山寺の始まりです。山号は国軸山。日本国の中心軸に位置する寺という意味です。以来今日まで、金峯山は、修験道の中心的な道場として、多くの修行者、宗教者が宗派を超えて入山修行しています。まさに、自然を敬い、神様も、仏様も大切にしている日本の心の原点が残っており、その精神文化は、今もしっかりと生き続けています。また、役行者が蔵王権現のお姿を山桜の木に彫刻したことから、吉野山では山桜がご神木として保護、献木され、日本一の桜の名所となりました。



仁王門(国宝)▶

重層入母屋造り、棟の高さ20.3mの日本屈指の山門です。桧材の寄木造り、高さ5.1mの仁王像(重文)が安置されています。



現在の金峯山寺は、金峯山修験本宗の総本山であり、多くの僧侶、修験者が日々、厳しい修行を続けています。吉野山蔵王堂から山上ヶ岳の山上蔵王堂（現大峯山寺）までの間、毎日休むことなく歩き、百日にわたって礼拝する「金峯山百日回峯行」、さらには、山上ヶ岳の開山期間（5月3日～9月22日）を8年、一千日を懸ける大行「金峯山千日回峯行」もこれまでに2名が成満しており、この金峯山寺で、役行者の教えを正しく受け継いでいます。金峯山寺を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」は、その「文化的景観」の価値が認められ、2004年に、ユネスコの世界文化遺産に登録されました。



開祖 役行者

えんのぎょうじゃ

舒明6年(634年)元旦のお生まれ。その名を役小角(えんのおずぬ)といます。全国各地の山々で修行され、霊山を開き、修験道の基礎を築かれました。後に1100年忌の際、光格天皇から日本の歴史上唯一の尊号「神変大菩薩」を賜われました。



金剛蔵王権現

こんごうざおうこんげん

役行者が祈り出された当山の本尊。釈迦如来、千手観音菩薩、弥勒菩薩が、過去・現在・未来の三世にわたって私たちを救済するため、悪魔を降伏させるこの忿怒の相のお姿で出現されました。権現とは仮のお姿で現れることを意味します。



南朝妙法殿

後醍醐天皇の行宮となった実城寺跡。南朝四天皇並びに忠臣の霊をお祀りしています。本尊釈迦如来像は重要文化財に指定。



佛舍利宝殿

昭和42年、インドのガンジー首相よりお釈迦様の御真骨を拝戴し、ここに奉安しています。この佛舍利宝殿では、皆様のご先祖回向も行っています。

年中行事



節分・鬼火の祭典

2月の節分の日に、星供秘法を修して、その年の天下泰平、除災招福などを祈ります。また、開祖役行者の説話に由来して鬼の調伏式を行います。これは、全国から追い出された鬼を「福は内、鬼も内」と蔵王堂に招き入れ、修験者の法力で、改心させ仏道に帰依させる儀式です。



花供懺法会(4月11・12日)

ご本尊蔵王権現に対し、ご神木である山桜の満開を報告し、お供えする法会。俗に花供会式と呼ばれる行事は、奴行列を先頭に鬼衆や稚児、山伏、僧侶、大名駕籠と続く十萬石の格式と伝えられる行列が吉野山を練り歩きます。





仁王門(国宝)▶

重層入母屋造り、棟の高さ20.3mの日本屈指の山門です。桧材の寄木造り、高さ5.1mの仁王像(重文)が安置されています。

蔵王堂(国宝)▼

金峯山寺の本堂。本尊蔵王権現三体のほか、多くの尊像を安置しています。単層裳階付入母屋造、桧皮葺き、高さ34m、四方36mの建物は、安土桃山時代に再建された大伽藍です。

四本桜▼

元弘3年2月3日(1333年)、南朝の大塔宮護良親王が北条勢に攻められ、吉野落城を覚悟し最後の酒宴を催された場所を示しています。



銅の鳥居(重要文化財)

発心門とも呼ばれ、ここで修行の道に入ることを決心します。俗世間から浄土への入り口とされています。



入峯修行

修験道は古くから日本に伝わる山岳信仰に神道や仏教、道教、陰陽道などが結びついて形づくられた日本固有の民俗宗教です。そして、修験の名が示すように実修実験を重んじ、修行を実践することで験(しるし)を体得します。山に伏し、山に学び、大自然の霊気の中で自己を見つめ、人間完成の道を求めるのです。現在も多くの人々が、神仏の住む曼荼羅であり、道場である山岳へ登って修行する入峯修行を行っています。



脳天神龍王院

昭和28年、五條寛澄初代管長(脳天菩薩僧)が蔵王権現の靈示を受けてこの地に建立。滝行場、お百度道場が整備されています。



採灯大護摩供

修験道で修法する採灯大護摩は、罪や穢れを焼き清める聖火です。もともと火は、古代から日本人の靈魂のシンボルであり、その聖なる火によって私たちの罪や穢れを焼却し、再生への道を歩ませるのです。併せてさまざまな願いの成就を祈ります。金峯山寺では、一般の祈願者のための護摩供の祈禱も受け付けています。



宝泉坊

脳天神龍王院の少し下流に位置し、水子地藏尊を本尊としています。



花供儀法会(4月11・12日)

ご本尊蔵王権現に対し、ご神木である山桜の満開を報告し、お供える法会。俗に花供会式と呼ばれる行事は、奴行列を先頭に鬼衆や稚児、山伏、僧侶、大名駕籠と続く十万石の格式と伝えられる行列が吉野山を練り歩きます。



蓮華会・蛙飛び行事(7月7日)

開祖役行者尊が産湯を使われたと伝えられる、大和高田市奥田・弁天池の蓮の花を採取し、蔵王権現並びに一山諸尊にお供える法会です。翌8日には山上本堂の蔵王権現に蓮を供える蓮華奉獻入峯修行も行われます。また、大きな蛙が修験大衆の法力により、人間に戻る奇祭・蛙飛び行事も行われます。(奈良県無形民俗文化財)

その他の行事

- *本尊奉謝祭(毎月7日)
- *本地堂供養会(毎月第1日曜日)
- *お護摩の会(毎月28日)
- *脳天神例祭(毎月19日)
- *佛舍利宝殿彼岸会(春・秋の彼岸)
- *修正会(正月1~3日)
- *観音堂大祭(4月18日)

- *高祖会・千衣大法会(6月7日)
- *半夏生・大般若転読会(7月2日)
- *大五輪塔供養会
- 立宗感謝日(9月22日)
- *愛染堂大祭(11月27日)
- *佛名会(12月14日15日16日)

- ◇回峯行者と行く「大峯体験修行」(5月~10月/月に1度開催)
- ◇吉野健康漸食道場(春と秋に開催)
- ◇千人結縁滝頂(4年乃至5年に1度開催)
- 信徒、一般向けの法会。本尊と深く御縁を結ぶ作法を行う。



仁王門(国宝)
重層入母屋造り、棟の高さ20.3mの日本屈指の山門。枘材の寄木造り、高さ5.1mの仁王像(重文)が安置されています。

国宝 仁王門

本堂(蔵王堂)北側に位置する入母屋造の壮大な門です。2階建てで、1階と2階の境目にも屋根の出を有する、本瓦葺きの二重門です。本堂が南を正面とするのに対し、仁王門は北が正面。これは、熊野(南)から吉野(北)へ向かう巡礼者と、吉野(北)から熊野(南)へ向かう巡礼者、両者に配慮して互いに背を向けるように建っているのだといえます。

門の左右に安置された高さ約5mの金剛力士(仁王)像は重要文化財。延元3年(1339)、南都大仏師康成の作です。このことから仁王門は延元3年頃の南北朝時代の再建とされています。



日本で一番目の大きさを誇る重要文化財 金剛力士像
左:吽形像 右:阿形像
高さ5m

金峯山寺本堂・蔵王堂



金峯山と金峯山寺

金峯山(きんぷせん)とは、奈良県の吉野山から山上ヶ岳(大峰山)に至る一帯を指し、古く飛鳥時代から聖地として知られていました。白鳳年間(7世紀後半)、修験道を始めた役行者(えんのぎょうじゃ)は、この金峯山で修行され、山上ヶ岳において、人々を迷いや苦しみから救い、悟りの世界に導くために金剛蔵王権現を祈り出されます。そして、そのお姿を山桜の木に彫刻し、山上ヶ岳と吉野山にお堂を建ててお祀りされました。これが山上下の蔵王堂の起りであり、金峯山寺の始まりです。

山号は国軸山。日本国の中心軸に位置する寺という意味です。以来今日まで、金峯山は、修験道の中心的な道場として、多くの修行者、宗教者が宗派を超えて入山修行しています。まさに、自然を敬い、神様も、仏様も大切にしている日本の心の原点が残っており、その精神文化は、今もしっかりと生き続けています。また、役行者が蔵王権現のお姿を山桜の木に彫刻したこと、吉野山では山桜がご神木として保護、献木され、日本一の桜の名所となりました。

現在の金峯山寺は、金峯山修験本宗の総本山であり、多くの僧侶、修験者が日々、厳しい修行を続けています。金峯山寺を含む「紀伊山地の霊場と参詣道」は、その「文化的景観」の価値が認められ、2004年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。

総本山 金峯山寺 国宝仁王門大修理事務局

〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町2498番地

電話 0746-32-8371 / FAX 0746-32-4563

<http://www.kinpusen.or.jp>

奉祝 天皇陛下ご即位



修験道開祖 役行者

役行者

えんのぎよつじや

霊蹟 36ヶ寺出開帳

金峯山寺蔵王堂で
36ヶ寺が御朱印

山岳修験道の開祖として崇められる役行者ゆかりの36ヶ寺の霊徳あらたかな尊像が今回、金峯山寺に一堂に会し、ご参拝いただけます。あの大峯山寺をはじめ、通常10日間をかけて巡拝する36ヶ寺の霊妙の徳全てに触れることができるこの機会、是非出開帳にご来山ください。

令和元年11月13日～17日
於 吉野山 金峯山寺 蔵王堂

秘仏本尊金剛蔵王大権現特別ご開帳
同時期開催決定

《お問い合わせ》 役行者霊蹟札所会
事務局：金峯山寺

〒639-3115 奈良県吉野郡吉野町吉野山
☎0746-32-8371
E-mail: office@kinpusen.or.jp

金峯山寺 友の会 入会のご案内

◇ 本会の趣旨

金峯山寺は、役行者がおひらきになり、蔵王権現さまを本尊と仰ぐ修験道の根本道場であります。金峯山寺は、蔵王権現さまと皆様方をおつなぎする尊いお役目をいたしております。

「金峯山寺 友の会」の特典は数々ありますが、なんといつでも、抛り所となるお寺があるという安心と自覚をもてることではないでしょうか。いつでも還るべきふるさとのようなお寺、それが金峯山寺とご縁が深まること、それが金峯山寺とご縁が深まること、尊く大切なことです。それはご家族の皆様にとっても、かけがえのない宗教的情操教育の場が恵まれることになるのではないのでしょうか。友の会は、金峯山寺の維持運営、伝道教化その他様々な活動の母体となります。金峯山寺は友の会によって、ますます盤石に支えられて行くことなのでしょう。

本会の趣旨をご理解いただき、ぜひ「金峯山寺 友の会」にご入会下さいますようお願い申し上げます。

◇ 会員期間

年度：4月1日より3月31日

会員期間：入会日より当該年度の3月31日まで

◇ ご入会特典

- ① 会員証をお送りします。
- ② 会員証記名の1名の蔵王堂（秘仏特別公開中も含む）を無料参拝いただけます。
- ③ 機関紙「金峯山時報」を毎月お送りします。
- ④ 「金峯山御宝暦」を年末にお送りします。
- ⑤ 金峯山寺の諸行事・各種案内をお送りします。
- ⑥ 特別催事等のご案内・ご優待。
- ⑦ 初回入会時に「信仰の手引き」を進呈します。
- ⑧ 金峯山寺での在家得度の申請ができます。

◇ ご入会希望の方は下記までご連絡下さい

- ・入会申込書（付 郵便振込用紙）をお送りいたします。
- ・年会費3000円

・お問い合わせ先：金峯山寺 友の会 事務局

〒639-3115

奈良県吉野郡吉野町吉野山 2498

TEL 0746-32-8371

FAX 0746-32-4563

MAIL office@kinpusen.or.jp

金峯山寺のご祈祷・お加持とご回向

◎ご祈祷・お加持

◇ 長日祈願

蔵王堂または脳天大神で毎日朝座勤行、夕座勤行時にお願い事とお名前を読み上げてご祈願いたします。

◇ 護摩祈願

蔵王堂では毎日午前11時より、脳天大神では毎週日曜日、祝日、毎月1日、19日の午後1時より護摩供が修され、お導師による聖杖加持が行われます。

（注：行事日程の都合で時間を変更させていただくことがあります。）

◇ その他の祈願

蔵王堂境内の愛染堂では、毎月27日に愛染明王特別祈祷がされます。又、上記祈願以外にも特別に護摩祈祷や勤行祈祷（読経による祈祷）を随時修法いたします。

◇ ご祈祷料

1日	3,000円
3日間	5,000円
7日間	10,000円
21日間	20,000円
100日間	30,000円
6ヶ月間	60,000円
1年間	100,000円

愛染明王特別祈祷	5,000円以上
特別勤行祈祷	10,000円以上
特別護摩祈祷 1座	30,000円以上

*ご祈願の後、ご祈祷札をお送りいたします

◎ご回向

◇ 本地堂回向

本地堂で勤行時にご先祖回向いたします。

◇ 仏舍利宝殿回向

仏舍利を奉祀する仏舍利宝殿においてご先祖回向いたします。

◇ 回向志納金のご案内（本地堂・仏舍利宝殿）

1霊位につき	1日間	1,000円以上
	1週間	5,000円
	1ヶ月間	10,000円
	6ヶ月間	20,000円
	1年間	30,000円
永代供養		150,000円以上（仏舍利宝殿のみ）

◇ 破地獄曼荼羅供養

破地獄曼荼羅供養を行い、霊位の地獄を破り往生極楽を願うものです。記入された破地獄曼荼羅は、蔵王堂奥殿西側の「金峯山大五輪塔」に埋納して永代供養いたします。また、この破地獄曼荼羅での生前供養も申し受けております。

志納金 1霊位 3,000円



世界遺産

登録15周年記念事業

吉野山 寺宝めぐり

平成31年4月1日〜翌3月31日

好評につき、期間を延長して実施します

普段は拝めない仏像や宝物が

この期間に特別に拝観できます



散華・朱印帳

「吉野山 寺宝めぐり」の記念散華を
加盟9寺院にて頒布しています。

●散華…(1枚) 100円 ●散華・朱印帳…300円

■主催 吉野山 寺宝めぐりの会

協力 吉野町・吉野ビクターズビューロー・近畿日本鉄道株式会社
後援 奈良県・奈良県ビクターズビューロー・吉野山観光協会

お問合わせ：金峯山寺 TEL.0746-32-8371

※各寺へのお問い合わせは裏面をご覧ください。

吉野山 寺宝めぐり

※写真は特別公開予定の寺宝

金峯山寺(きんぷせんじ)金峯山修験本宗総本山

世界遺産。白鳳年間に修験道の開祖役行者が開いたとされる修験信仰の根本道場。秘仏三体の御本尊金剛藏王権現を安置し、本堂蔵王堂と仁王門は国宝、銅鳥居は重文に指定されています。中世において隆盛を極め、現在も金峯山修験本宗の総本山として偉容を誇っています。TEL.0746-32-8371



阿難(あなん)立像・迦葉(かしよう)立像

大日寺(だいにちじ)真言宗醍醐派

本尊は平安後期、藤原時代の作と伝えられる五智如来像で、大日如来を中心に阿闍・宝生・無量寿・不空成就の五体の如来がおまつりされています。いずれの像も奇木造に漆箔を施し、面相、衣紋に優雅な藤原仏の特色を表しています。いずれも重要文化財に指定されています。※要拝観料 TEL.0746-32-4354



阿弥陀如来二十五菩薩来迎図六曲屏風

竹林院(ちくりんいん)単立寺院



聖徳太子坐像

大峯山護持院の一つで、椿山寺として聖徳太子が創建し、道賢上人が多宝塔を建て日蔵院と号したと伝えられています。南北朝時代に竹林院と改められました。大和三庭園の一つに数えられる群芳園は、池泉回遊式の借景庭園で、千利休が作庭し細川幽斎が改修したものです。※拝観料(400円)が必要です。TEL.0746-32-8081

東南院(とうなんいん)金峯山修験本宗(別格本山)



大峯山護持院の一つで、開祖は役行者と伝えられています。金峯山寺から見て、東南の方向に建てられたことからこの名前がつけました。境内にある多宝塔は昭和12年に和歌山より移築されたものであり、お祀りする大日如来は県指定文化財に指定されています。TEL.0746-32-3005

大日如来坐像

喜蔵院(きそういん)本山修験宗(別格本山)



大峯大天狗立像

大峯山護持院の一つで、智証大師の創建といわれています。本尊は役行者像で、天狗立像、蔵王権現像、不動明王立像などがおまつりされています。また、江戸時代、陽明学者熊沢蕃山が由比正雪の乱の際にしばらく身を隠した所としても知られています。TEL.0746-32-3014

弘願寺(こうがんじ)高野山真言宗



虚空蔵菩薩坐像

本尊は木造阿弥陀如来立像(県指定文化財)で、鎌倉時代の作といわれています。また、本堂左側には石造の地藏菩薩があり、関屋地藏と呼ばれています。元は関屋桜の近くにおまつりされていたもので、戦国時代に作られた貴重な地藏菩薩といわれています。TEL.0746-32-3855

善福寺(ぜんぶくじ)高野山真言宗



井光大権現

本尊は薬師瑠璃光如来で、釈尊降誕会であり薬師如来のご命日である4月8日には、長寿大根煮きが行われます。本堂の北側には、古事記の神武天皇御東征に際して、天皇をお迎えした吉野首(おびと)の祖、井光(いひか)が出現したと伝わる井光井戸の旧跡があります。TEL.0746-32-3747

櫻本坊(さくらもぼう)金峯山修験本宗(別格本山)



役行者 母公像

大峯山護持院の一つで、桜の夢のご縁で天武天皇が建立・勅願寺とされました。神変大菩薩(鎌倉時代・重文)を御本尊とし、釈迦如来坐像(重文)、地藏菩薩坐像(重文)など数々の宝物が奉安されています。聖天堂には役行者ご感得の聖天尊(歓喜天)が祀られています。※要拝観料 TEL.0746-32-5011

如意輪寺(にょいりんじ)浄土宗

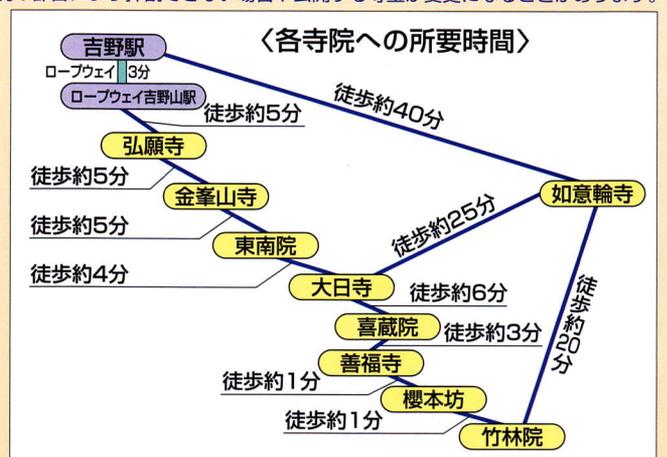


四条畷の合戦の図(歌川国芳・作)

延喜年間に、日蔵道賢上人の創建と伝えられています。後醍醐天皇が勅願寺と定められ、境内の裏には後醍醐天皇の御陵があります。宝物殿には蔵王権現像(重要文化財)や楠木正行が辞世の歌を刻んだ屏などが納められています。※要拝観料 TEL.0746-32-3008



●各寺院の都合により拝観できない場合や公開する寺宝が変更になることがあります。



●ロープウェイは時期により運休する場合があります。